

2022年3月30日

報道関係各位

関電不動産開発株式会社

豪州・ニューサウスウェールズ州における
当社初の宅地開発事業への参画に関するお知らせ

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市、社長：藤野研一）は、今般、豪州において、2021年10月に新設した現地法人 Kanden Realty & Development Australia Pty Ltd（以下、KRD Australia）を通じて、初の宅地開発事業に参画することとなりましたので、お知らせいたします。

参画する案件はニューサウスウェールズ州を中心に不動産開発を行う Legacy Property（本社：シドニー、CEO：Matthew Hyder、以下、Legacy社）がシドニー近郊のラウズ・ヒルエリアで開発を行う Rouse Hill Heights（ラウズ・ヒル・ハイツ）宅地開発事業です。

記

■物件及びエリアの特徴

本プロジェクトは、シドニー北西部の「ラウズ・ヒル」エリアにおいて、宅地開発・分譲を行う計画で、当社としては海外における初めての宅地開発事業となります。

着実に人口が増加する豪州において、シドニー都市圏は豪州経済をけん引する豪州最大の都市圏であり、その発展に併せて当ラウズ・ヒルエリアも著しい人口増加を遂げています。「シドニーメトロ」の第1期ノースウエスト線が2019年5月に開通し、最寄りの「Tallawong（タラウオング）」駅からシドニー中心街北部の「Chatswood（チャッツウッド）」駅を結ぶ全長36kmの鉄道網が整備されたこともあり、住宅地として一層の利便性向上が見られるエリアです。これにより、シドニーCBD、パラマタ、ノーウェスト、マッコリーパークと言った主要ビジネスエリアへの良好なアクセスが可能となっています。また主要幹線道路にも隣接していることから車での利便性も高い立地です。

加えて、同エリア周辺には2007年にオープンした「ラウズ・ヒル・タウンセンター」を始め、商業施設や教育施設が複数所在し、今後更なる生活利便施設の整備も予定されています。同エリアの利便性はより一層高まる見込みで、コロナ禍で浸透したワーク・フロム・ホームにも適した都心近郊エリアとしても注目を集めています。

■今後の豪州における展開

当社は、初の宅地開発事業への参画を通じて、豪州における不動産事業に関する知見をより一層拡充するとともに、今後は宅地開発事業のみならず、集合住宅開発事業、またニューサウスウェールズ州以外の州においても更なる事業参画の機会を検討し、豪州における収益拡大を目指します。

■物件概要

所在地 : 285-297 Annangrove Road, Box Hill

敷地面積 : 約 11ha

総区画数 : 208 区画 (当社参画分)

スケジュール : 着工/ 2022 年 3 月 (予定)

竣工・引渡/ 2022 年 12 月 (予定)

「Rouse Hill Heights」計画地周辺パース



「Rouse Hill Heights」完成予想パース ※当社参画事業は宅地分譲



■Legacy 社について

本プロジェクトを主導する Legacy 社は、住宅開発を中心に行う不動産開発会社であり、シドニー都市圏を中心に、過去 10 年以上に渡り 6,250 戸を超える住宅供給を行ってきました。大規模な宅地開発から中高層の集合住宅等、幅広い商品を提供し、住む人の満足を生み出す良質な住環境の創出を手掛けてきた会社です。

商号 : Legacy Property
代表者 : Matthew Hyder
設立 : 2009 年

CEO「Matthew Hyder」氏からのコメント

ラウズヒルエリアは今後も継続した成長が見込まれる、非常に有望なマーケットです。本件の成功に力を尽くすとともに、続く案件の取得にも力を入れていきたいと考えています。今回、関電不動産開発と事業機会を持てたことは喜ばしいことであり、これを契機に宅地分譲のみならず、集合住宅等の更なる案件も、ともに検討していくことを楽しみにしています。

■本ニュースリリース配布先

大阪建設記者クラブ

以 上